

2020年10月18日

## 水域ロボットシンポジウムのご案内（仮）

新しい水域産業（海や川など水場に関わる産業）を興すためにはロボティクスと ICT 技術が重要であると声高に語り始めて早くも5年が経つ。残念ながらこの5年間で新しい水域産業は始まっていない。その理由はなんだろう？結局は自らが動かなければコトは為せないということだ。今回は、このシンポジウムの主催者自らが仕込んでいる研究開発事業を紹介し、これから水域産業にトライしようと考えている人たちを刺激しようと思っている。シンポジウムを聴いてもらえば、ロボットと ICT を水域で利用するにあたって阻害要因になっているかわかるかもしれない。さて、これだけでは手前味噌になってしまうので、さらに最新の水中技術の話題を提供したいと思う。半日の時間を割いて、シンポジウムに参加いただく皆さまに少しでも価値ある話題を提供できればと願うばかりである。

### 開催概要

日時： 2020年11月6日（金）13:00 ～ 17:30

開催形態： WEB & 現地混合開催

現地： 宜野湾マリン支援センター 2階会議室  
（〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7丁目10-27）

WEB: ZOOMもしくはWEBEXによる配信

テーマ： 新たな海洋産業は水域ロボットで実現できる  
～ロボットとICTによる産業創出への取り組み～

会費： 無料

人数： 最大30名（現地）、最大100名（WEB）

〆切： 11/2（月）17:30

申込： 第6回沖縄海洋ロボットコンペティションホームページにて  
<http://www.rob-underwater.jp/2020/rchp/JPN/index.php>

- ・ ご所属とお名前
- ・ メールアドレス
- ・ 現地参加／WEB参加

をお知らせください。WEB参加のアドレスは2日前までにお送りします。なお、人数が定員に達した場合は締切以前でもお断りさせていただく場合がございます。

問合せ： 水域ロボットシンポジウム事務局 吉田・岡田まで  
(marinetech.rdu@sea.nifty.jp, または m.okada@kyushu-pc.ac.jp)

主催： 沖縄海洋ロボコン実行委員会

後援： 海洋研究開発機構（予定）、水中ロボネット（予定）、福島RTF（予定）、  
アクアLANコンソーシアム（予定）

### 3. アジェンダ (暫定)

12:00 開場

12:30 受付開始

13:00 開会あいさつ

13:10 講演 1 : 「浅海音響通信の最先端」, 北見工業大学 吉澤@WEB

13:40 講演 2 : 「自律型海中ロボットを用いた水産資源調査」, 九工大 西田@現地

14:10 講演 3 : 「水中ロボット教育」, 東京大学 山縣@WEB

14:40 休憩

————— 特集 : 水域産業の実現シナリオ —————

15:00 特集1 : 「ロボット水中心検実現のシナリオ」, JAMSTEC 吉田@現地

15:50 特集2 : 「ロボットの総合技術」, アトラックLAB 伊豆@現地 (検討中)

16:20 特集3 : 「ロボットのAI技術」, 防衛装備庁 丹羽@現地

16:50 特集4 : 「ロボットの制御技術」, 海洋大学 清水@WEB

17:10 事務局連絡

17:15 閉会

### 4. その他

第6回海洋ロボットコンペティションin沖縄が11/7~8 に宜野湾マリン支援センターならびに宜野湾新漁港を会場として実施されます。ご興味のある方は下記リンクから詳細をご覧ください。

<http://www.robo-underwater.jp/2020/rchp/JPN/index.php>

以上